

ウォーキングシンポジウム

ウォーキングシンポジウムは、ウォーキングの魅力を広く伝えることを目的として、毎年全国各地で開催されています。今回は、大阪府の鳥取市・倉吉市で開催されたこのシンポジウムに、山本教文氏や山本道夫氏などの著名なウォーキング愛好家が参加し、ウォーキングの楽しさや健康効果について語り合いました。

歩育のすすめ



子どもが参加したくなるように、歩育のすすめが展開されています。これは、歩くという身近な活動を通じて、子どもたちの心身の健康を促進することを目的としています。

6日鳥取・倉吉で開催

歩育のすすめ



簡単なゲームで遊ぶ、大切さ体感

ウォーキングの楽しさを伝えるために、簡単なゲームを取り入れた歩育のすすめが展開されています。これにより、子どもたちが歩くことを楽しみ、積極的に参加できるようになっています。

子どもが参加したくなるように

人間の活動の根本

ZAO 入道 松田 隆氏

人間が生きるための根本的な活動とは何か、それは歩くことにある。歩くことは、人間の身体を鍛え、心を安定させるために不可欠な活動である。本日は、この歩育のすすめについて、松田氏から詳しくお話いただく。

大阪での浸透実感

煙中 一氏

大阪府を中心に、歩育のすすめが浸透している実感を共有したい。本日は、煙中氏から大阪での実践事例や効果について詳しくお話いただく。

指導者育成が必要

片倉 道夫氏

歩育のすすめを効果的に実施するためには、指導者の育成が不可欠である。本日は、片倉氏から指導者としての役割や育成方法について詳しくお話いただく。